

県立高等学校改革前期実施計画(2019～2023 年度)について

1 県立高等学校の再編整備

望ましい学校規模とするため、1学年4～6学級とし、3学級以下の学校について、再整備を推進。
⇒ 25校73学級を13校60学級に統合

2 過疎・中山間地域の例外措置

地理的条件や公共交通機関の状況等から統合により近隣の高校への通学が極端に困難になり、教育機会が著しく損なわれる場合や地元からの入学者の割合が著しく高いなど特別な事情を考慮。
⇒ 西会津、猪苗代、川口、只見、川俣、湖南の6校

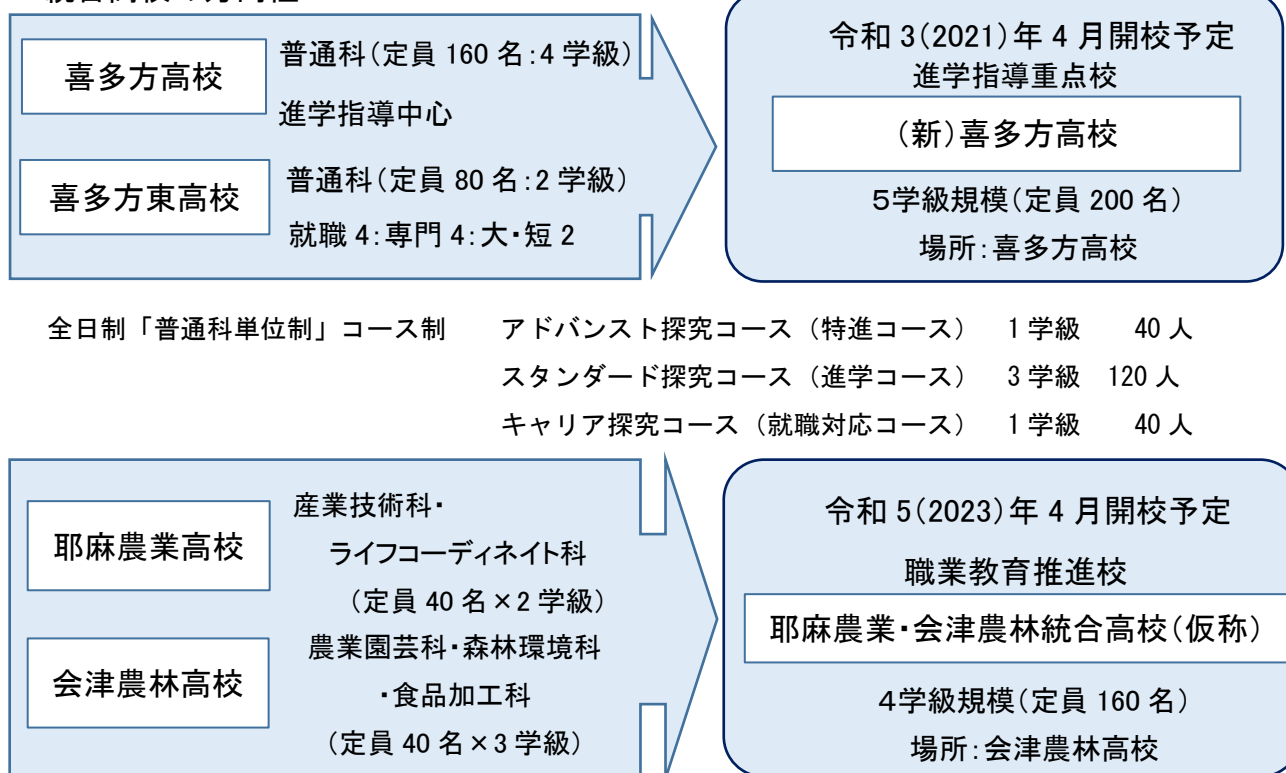
3 生徒の学びのニーズや進路希望に応じた特色化

様々な課題に果敢に取り組む主体性・協働性を育成する教育活動の推進や、多様な学習内容の確保及び教育の質の向上の観点から、6つの学校群のいずれかに位置づけ、生徒の学びのニーズや進路希望に応じた教育活動を展開。

6つの学校群

- ①進学指導拠点（会津、福島、安積、磐城の4校）
- ②進学指導重点校（喜多方・喜多方東統合校、葵、会津学鳳、橘、安積黎明など16校）
- ③キャリア指導推進校（大沼・坂下統合校、田島・南会津統合校、ふたば未来学園など21校）
- ④地域協働推進校（西会津、猪苗代、川口、只見、川俣、湖南の6校）
- ⑤職業教育推進校（耶麻農業・会津農林統合校、喜多方桐桜、若松商業、会津工業など21校）
- ⑥定時制・通信制高校（会津第二、郡山萌世など7校）

4 統合高校の方向性



県の第3回懇談会で、「農業園芸課」「森林環境課」「食品加工科」「地域資源活用科（新設）」の4科案と開校時の1・2年生は卒業までそれぞれの学校で学ぶ「校舎方式」が示された。

第3回 県立高等学校改革懇談会 『耶麻農業・会津農林』

日時：令和2年8月7日（金）14：00～15：00

場所：会津農林高等学校 大会議室

福島県教育委員会

1

本日の進め方

1	両校の現状と統合校の方向性について
2	前回の懇談会でいただいた意見について
3	スケジュールについて

2

1

両校の現状と統合校の方向性について

3

生徒数の状況

急激な少子化

中学校卒業見込み者数（福島県全体）



中学校卒業見込み者数（会津地域※）



※ 会津地域：
河沼郡・大沼郡・喜多方市・会津若松市

4

生徒数の状況

両校の入学者数の状況

耶麻農業高校

年度	H23	24	25	26	27	28	29	30	31	R2
募集定員	80（産業技術科・ライフコーディネイト科）									
入学者数	68	49	41	46	55	32	53	42	36	37
充足率	85%	62%	52%	58%	69%	40%	66%	53%	45%	46%

会津農林高校

年度	H23	24	25	26	27	28	29	30	31	R2
募集定員	120（農業園芸科・森林環境科・食品加工科）									
入学者数	110	114	105	106	106	110	104	94	114	86
充足率	92%	95%	88%	89%	89%	92%	87%	79%	95%	72%

5

生徒数の状況

中学校卒業者の高校進学者人数（令和2年度）

		耶麻農業	会津農林	会津	葵	会津学鳳	若松商業	会津工業	喜多方	喜多方東	喜多方桐桜	坂下	その他	合計
喜多方市	山都	1			1	2			1	3	4		2	14
	喜多方一	3	1	6	6	1	2	1	23	2	26		12	83
	喜多方二	4		11	10	3	5	1	27	11	14		12	98
	喜多方三		2	2	5		4	5	17	8	18		5	66
	塩川	1		4	8	2	4	7	25	11	17		11	90
	高郷		1					2	3	3	1		1	11
	会北				2				6	2	6		1	17
	小計	9	4	23	32	8	15	16	102	40	86		44	379
河沼郡	坂下	1	19	14	9	12	10	13	12	4	13	2	12	121
	湯川	2	4	2	3	2	6	3		4				26
	柳津学園		5	2		3	3	3	1				9	26
	大沼郡	1	11	24	16	9	15	22	1			11	68	178
	会津若松市	18	42	149	106	172	94	159	7	9	29	28	315	1128
	（その他）	6	1											
	合計	37	86											

6

耶 麻 農 業 高 校

- 産業技術科、
ライフコーディネイト科
(定員80名：2学級)

会 津 農 林 高 校

- 農業園芸科、森林環境科、
食品加工科(定員120名：3学級)

統合校 2023年4月開校予定
農業科 4学級規模 (定員160名)
場所：会津農林高校

会津地区の農業教育の拠点校として、
地域産業を支える産業人を育成します

7

開校年度のイメージ (2023年4月)

現在の学年	統合時の学年	カリキュラム
現中学1年生	統合校高校1年生	統合校の新しいカリキュラム
現中学2年生	統合校高校2年生	入学時のカリキュラム (変更なし)
現中学3年生	統合校高校3年生	



統合校を卒業

8

2 前回の懇談会でいただいた意見について

9

第2回懇談会でいただいた主な御意見

① 統合について

- 統合案が突然示されており、白紙に戻すべきである。
- 統合し適正規模にする方針は賛成である。
- 統合する生徒にとってのメリットを具体的に示して欲しい。

② 統合校の特色化について

- 生産、加工、販売の一連の流れである6次化をそれぞれの科でやるべきである。
- 専門性を高めるためにも、統合して学びを充実させてほしい。

③ 校舎方式について

- 耶麻農業の生徒の中には統合により会津農林の校舎に通いたいという生徒もいるのではないか。
- 通学方法も含め、環境が変わることによって高校生活に対する心配があることから、校舎方式はぜひ採用してほしい。

10

① 統合について

県立高等学校改革前期実施計画公表までの経緯

学校教育審議会の動き

※ 有識者19名で構成

- 平成28年 5月 社会の変化に対応した今後の県立高等学校の在り方について諮問
 - 平成28年 7月～ 学校訪問（都市部の高校、周辺部の高校）
 - 平成28年 12月～ 中間まとめ公表（県内7地区での※教育公聴会）
 - 平成29年 6月 県教育委員会へ答申
- ※ 教育公聴会メンバー：各地区の中学生、高校生
小中学校のPTA会長および高等学校評議委員

県立高等学校改革基本計画 素案公表 平成29年 11月

県民の皆様からの意見聴取

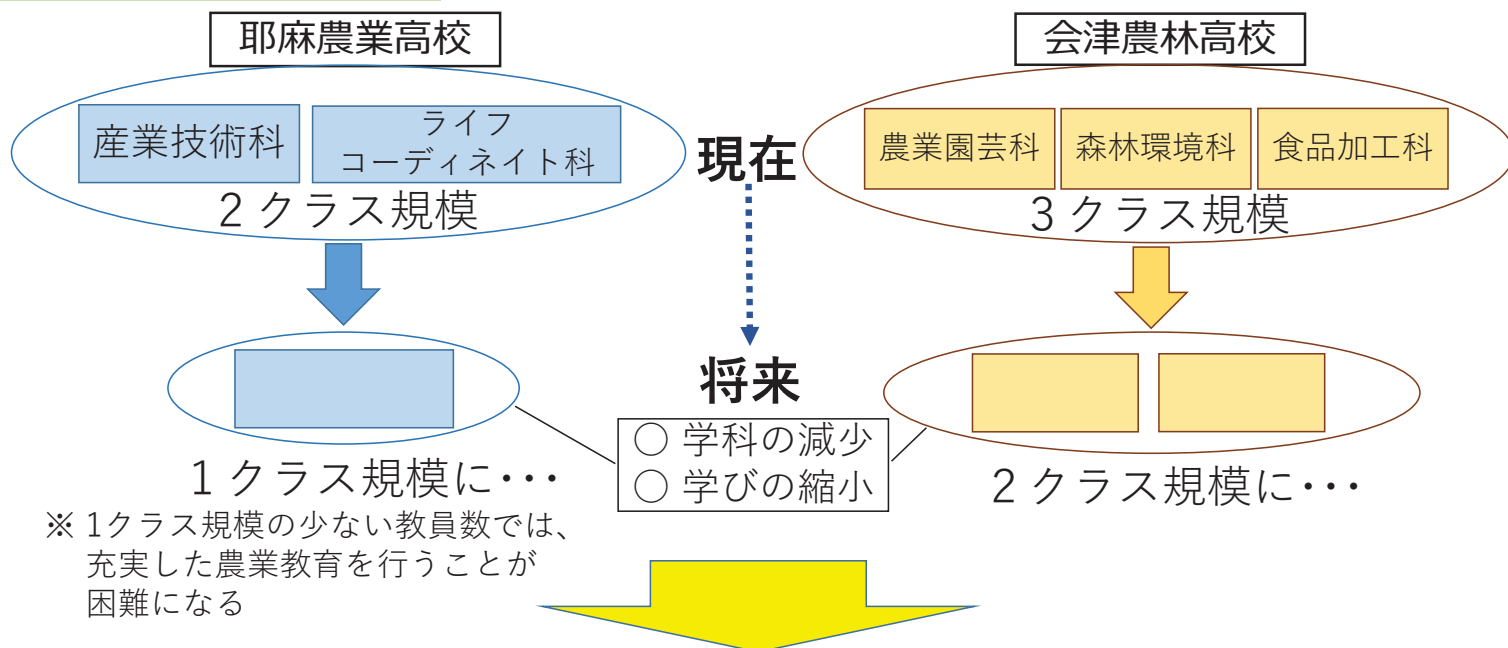
- 平成29年11月～平成30年2月 **パブリックコメント**（期間を延長して実施）
- 平成30年 1月 **県内7地区での※教育公聴会**

県立高等学校改革基本計画の策定 平成30年 5月

- 県立高等学校改革**前期**実施計画（2019年度～2023年度）5年間（平成31年2月公表）
- 県立高等学校改革**後期**実施計画（2024年度～2028年度）5年間

① 統合について

統合しない場合の想定

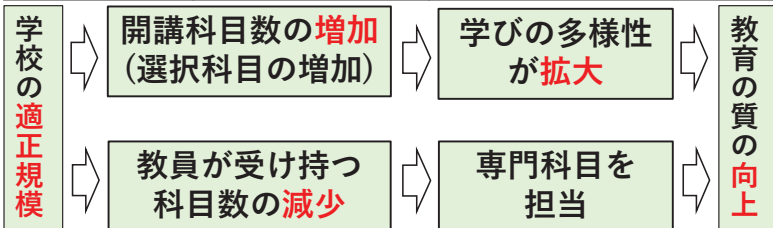


① 統合について

統合するメリット①

学級数と開講科目数、 教員が担当する科目数の比較

学級数 (例)	開講科目数 (例)	教員が担当する科目数
6	50	1.2
5	47	1.3
4	45	1.6
3	43	2.0
2	41	2.7
1	34	4.3



学校要覧より

学校での教科・科目

教科	科目
英語	英語 英語表現 英語会話
数学	数学(Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ) 数学(A,B)
理科	物理 化学 生物 地学
地理歴史	世界史(A,B) 日本史(A,B) 地理(A,B)
公民	現代社会 倫理 政治・経済
国語	国語総合 現代文(A,B) 古典(A,B)
保健体育	体育 保健
家庭	家庭総合
芸術	音楽 美術 書道
農業	農業と環境 農業情報処理
	総合実習 課題研究 作物 野菜
	果樹 草花 森林科学 林産物加工
	食品製造 食品化学 生物活用等
L H R	ロングホームルーム

13

① 統合について

統合するメリット②

教員の校内業務

クラス担任、副担任、教務、生徒指導、進路指導、保健、
渉外、総務、地域連携、生徒会、図書、視聴覚

生徒支援の体制	1学年4学級	1学年3学級 (会津農林)	1学年2学級 (耶麻農業)	1学年1学級
部活動指導 (設置数)	運動部 11 文化部 9	運動部 8 文化部 4	運動部 6 文化部 2	運動部 2 文化部 2
進路指導 (専門の教員数)	4	2	1	0
生徒指導 (専門の教員数)	3	1	1	0
学校司書 (正規職員)	1	0	0	0

14

統合するメリット

- ・ 教員数を確保することで、多様な科目や部活動の設置が可能となり、生徒の選択の幅が広がる。
- ・ 多様な生徒や教職員と触れあうことで、視野を広げられる。
- ・ 一定の集団規模を確保することで、生徒が互いに切磋琢磨できる。

15

設置学科の方針：学習指導要領における農業の学び4分野に対応した4学科を設置する

農業の4つの分野

農業生産や農業経営の分野

国土保全や環境創造の分野

食品製造や食品流通の分野

資源活用や地域振興の分野

統合校の学科構成

(学科名は全て仮称)

生産科学科

環境科学科

食品科学科

地域創生科

16

② 統合校の特色化

学科の概要について①

農業生産や農業経営の分野

生産科学科

作物畜産 コース
野菜果樹 コース

※ 学科、コース名は全て仮称

学習内容：作物、畜産（肥育＋繁殖）、野菜、果樹、
生物活用、食品流通、GAP教育

育てたい生徒像や資質・能力

作物の栽培や家畜の飼育をとおして、農業生産
や経営に関する知識と技術を総合的に習得させ、
農業の振興を図る能力と態度を育てる。

想定される進路
農業関連企業、
農業大学校、大学

国土保全や環境創造の分野

環境科学科

森林マネジメント コース
空間デザイン コース

※ 学科、コース名は全て仮称

学習内容：測量、水循環、森林科学、
林産物利用、造園施工管理、農業土木施工

育てたい生徒像や資質・能力

森林と造園及び土木に関する知識と技術を
総合的に習得させ、環境保全と住環境の改善
を図る能力と態度を育てる。

想定される進路
土木建設業、公務員
（土木、林業）、大学

17

② 統合校の特色化

学科の概要について②

食品製造や食品流通の分野

食品科学科

製菓製パン コース
食品応用 コース

※ 学科、コース名は全て仮称

学習内容：食品製造、食品化学、食品微生物、
生物活用、醸造

育てたい生徒像や資質・能力

農産物を中心とする食品の加工及び食品衛生に
関する知識と技術を総合的に習得させ、食品産業
の振興を図る能力と態度を育てる。

想定される進路
食品関連企業、製菓工場、
大学・短大

資源活用や地域振興の分野

地域創生科

アグリデザイン コース
ライフデザイン コース

※ 学科、コース名は全て仮称

学習内容：総合実習（草花、野菜、作物）
地域資源活用、生物活用、植物バイオテクノロジー

育てたい生徒像や資質・能力

農業分野の資源活用や地域振興及び農業の
持つ多面的な機能についての知識と技術を総
合的に習得させ、農業の新たな価値を創生し、
農業と地域の振興を図る能力と態度を育てる。

想定される進路
農業関連企業、
サービス業、大学・短大

18

地域創生科（仮）

資源活用や地域振興の分野

育てたい生徒像

会津の豊かな地域資源を活用し、地域振興の担い手となる人材の育成を図る。

学びの柱

生物活用

園芸作物の栽培とその活用について学び、

交流活動を通して農業の振興や社会貢献に取り組む**地域資源活用**

地域資源の活用や地域振興について理解し、

地域と連携した活動に取り組む

プロジェクト学習を通して、会津地域の課題を探究し、
農業の観点から解決策を考え、地域振興に資する活動を行う

19

生産科学科

環境科学科

食品科学科

地域創生科

共同プロジェクトの
発案・実行

チーム（学校）として
6次化・地域連携を行う

自治体

地元企業

地域の農業者

価値の高まり・学校の魅力化

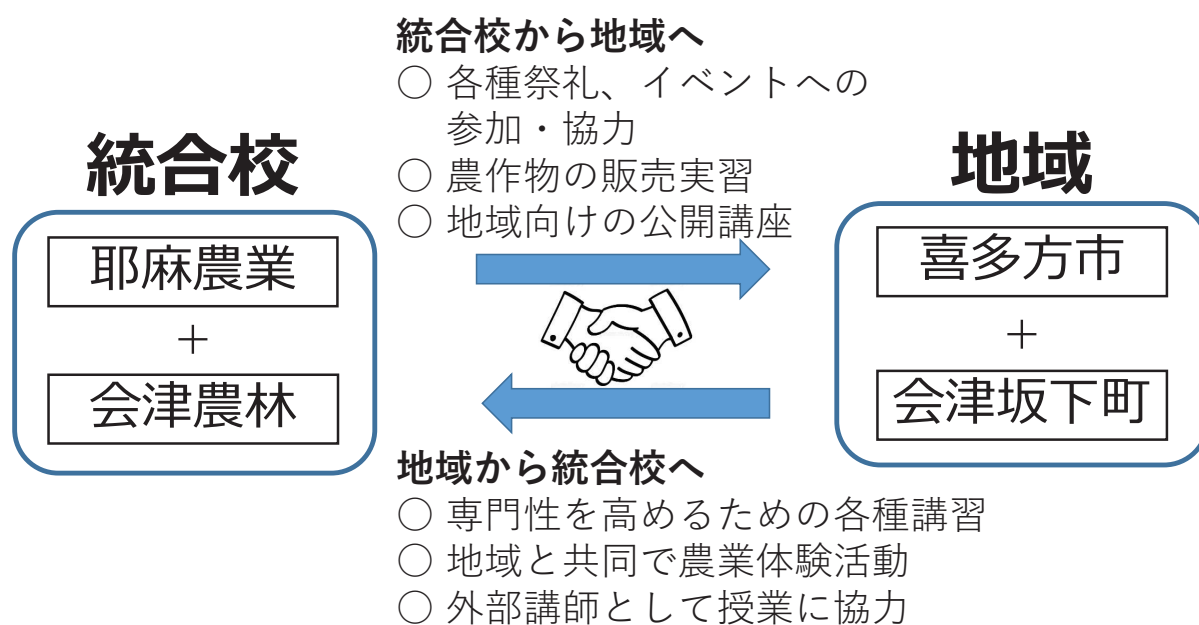


20

(例) 会津の伝統食文化の継承・発展



地域資源の良さを知り、それを活用して地域振興につなげる学び



地域を知る活動を通して、地元への定着やUターンを促進する
地域の活動に高校生が参画することで、地域活力の向上に寄与する

② 統合校の特色化

統合校のイメージ

地域の未来を担う人材を育成
「会津の農業拠点校として、地域に根ざした生徒を育てる」

農業4分野の学びを可能とする学科構成

生産科学科 環境科学科 食品科学科 地域創生科

職業教育推進校

高い専門性を身につける教育活動

コース制の導入

(2年次から)

選択の幅を広げ専門性を深める

将来の職業選択につながる深い学び

専門的な学び

GAP認証取得 ICT活用
スマート農業の実践
職業に繋がる資格取得
大学・関係機関との連携
6次化を目指した取組
農福連携の実現

地域との連携

地元企業と商品開発
小中学校との食育教育
自治体と共同緑化事業
福祉施設での園芸実習
各協会の実技講習
企業と農業共同体験

喜多方市・会津坂下町
両地域を学びのフィールドに

就職

- ・農業関連企業
- ・食品関連企業
- ・土木建設業
- ・土木、林業関係公務員

進学

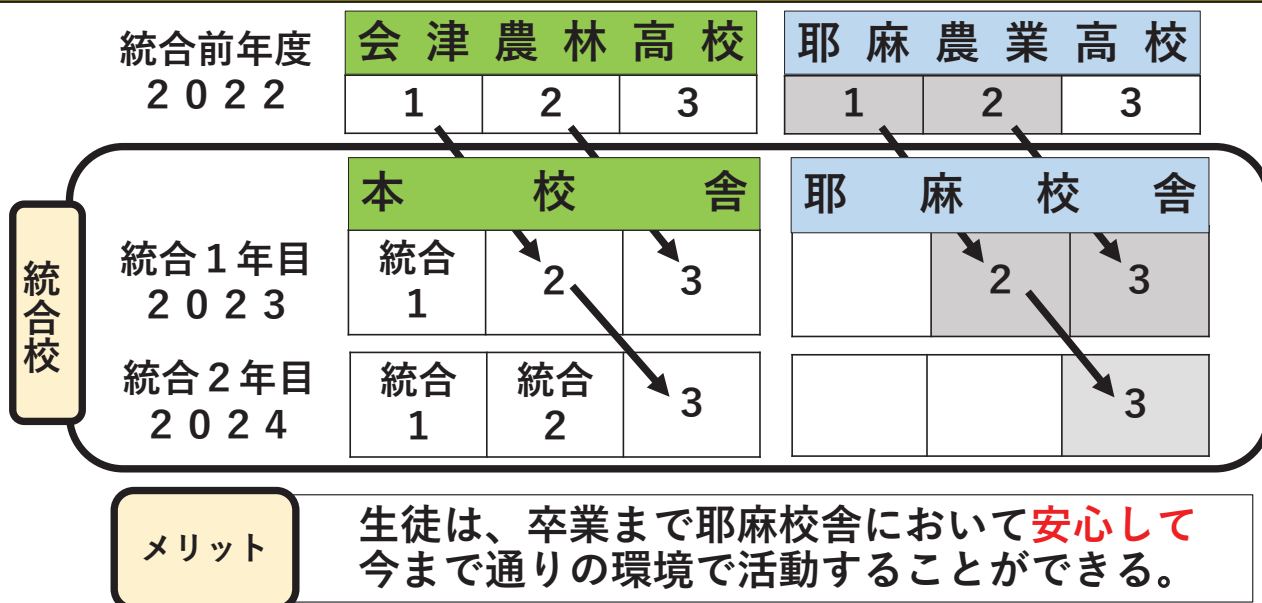
- ・農学部、食物栄養等の四年制大学、短期大学
- ・農業大学校

23

③ 校舎方式

校舎方式のイメージ

校舎方式：統合により1つの高校ではあるが、それぞれの高校の校舎をそのまま使用し、生徒が入学した高校の校舎で卒業まで学ぶ方式。
生徒は統合後も、今まで通学した校舎で学ぶことができる。



24

3

スケジュールについて

25

スケジュール

統合校に関する説明スケジュール（案）

2020年度 (令和2年度)						2021年度 (令和3年度)									2022年度 (令和4年度)									2023年度 (令和5年度)	
7	8	9	10	...	3	6	7	8	9	10	11	12	...	3	4	5	6	7	8	9	10	...	2	3	4
										説明会 中学2年生対象 保護者対象 中学教員対象						ポスターパンフレットの配付								統合校 入学 者 選 抜	統合校 開校式 入学式
中学校への 高校説明会 (中学3年生対象)					中学校への 高校説明会 (中学3年生対象)					統合時、高校1年生							統合校 体 験 入 学	中学校への 高校説明会 (中学3年生対象)							
統合時、高校3年生					統合時、高校2年生													統合時、高校1年生							
						統合校の校名の検討・決定									統合校の制服の検討・決定 統合校の校章の検討・決定 統合校の校歌の検討・決定										

26

新生

社会を創る**学び**がここにある

福島県立喜多方高等学校

Glocally 【地球規模の視点で、そして、地域に根ざして】

Earnestly 【真剣に、熱心に、ひたむきに】

Ambitiously 【大志を抱いて】

Resourcefully 【知恵と才能を働かせて】

“GEAR”で進路実現
喜多方高校の学び



令和3年(2021年)4月開校



福島県立喜多方高等学校



教育目標

真理と正義を愛し、高い志と豊かな人間性を備え、
創造的に考え主体的に行動することができ、
社会のリーダーとなる生徒を育成する。



育てたい生徒像



喜多方・日本・世界

君が創る

『新生』喜多方高等学校の特徴

I 進路希望に応じたコースを設置します

- ① アドバンスト探究コース 人文 理数 …… 高い進路希望の実現を目指す
一年次より、難関国公立・私立大学入学を目指します。
 - ② スタンダード探究コース 人文 理数 …… 勉強と部活動の両立を目指す
国公立・私立大学入学、専門学校入学、公務員就職を目指します。
 - ③ キャリア探究コース キャリア …… 地域社会の即戦力を目指す
地元企業等への就職を目指します。
- ※②、③のコースは一年次に選抜を行い、二年次からスタートします。

II 県内初となる普通科での単位制

- (1) 生徒一人一人の興味・関心、進路希望等に応じて履修する科目を選択することができます。
 - (2) 生徒の学習ニーズに応じて、探究型・課題解決型学習による、主体的で質の高い学びが可能となります。
- ※ 履修ガイダンスや履修コーディネートにより、安心して科目を選択できます。

III 地域と連携した教育

総合的な探究の時間「きたかた・グローバル・リサーチ」において、地域の課題を、SDGsの視点や大学における専門的な学びの視点とつなげ、解決策を築く中で、主体性・思考力・判断力・表現力を育成します。

※ SDGs: Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標) 地域コーディネートによる講演会



IV ICT機器の活用

- ・タブレット等を用いて、インターネットを活用した授業を行います。
- ・大型提示装置の活用により、さらに見やすく、わかりやすい授業を展開します。
- ・各教室にWiFi環境を整備します。



アドバンスト探究コース

東大を含めた難関国公立・私立大学受験にも対応できるカリキュラム
～高い進路希望の実現を目指す週35時間の授業～

ボーダーレス化する社会の中で、答えの用意されていない課題に果敢に挑む、専門知識と人間力を合わせ持つグローバルリーダーの資質を備えた生徒を育成する。

〈人文〉

高度な英語力、読解力、人間関係構築力、深い教養、人文分野における専門知識を身に付け、国際的視野に立ち、社会を牽引するリーダーとなる生徒を育成する。

〈理数〉

高度な理数探究力、英語力、深い教養、理数分野における専門知識を身に付け、様々な分野におけるリーダーとして地域はもとより、国際的な活躍ができる生徒を育成する。

カリキュラム

共通履修科目				
国語総合	物理基礎	家庭基礎	生物基礎	
現代文B	化学基礎	芸術 (音楽Ⅰ・美術Ⅰ)	社会と情報	
古典B	体育	保健		
世界史A	コミュニケーション英語Ⅰ			
現代社会	コミュニケーション英語Ⅱ			
数学Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅲ			
数学Ⅱ	英語表現Ⅰ			
数学A	数学B	英語表現Ⅱ		

難関大学合格に必要な科目を充実

選択科目			
世界史B	物理	世界史B	物理
日本史B	化学	日本史B	化学
地理B	生物	地理B	生物
倫理	古典A	倫理	古典A
政治・経済	数学Ⅲ	政治・経済	数学Ⅲ
	など		など

想定する将来の進路先

【人文】

研究者、弁護士、国家公務員、起業家、企業経営者 等

【理数】

医師、研究者、技術開発者、企業経営者 等



スタンダード探究コース

国公立大学を含めた四年制大学受験に対応したカリキュラム
～勉強と部活動の両立を目指す週33時間の授業展開～
～進路希望に応じてスポーツ、芸術、家庭に関する科目も選択可能～

〈人文〉

論理的思考力と実践的な英語力を育成し、将来、グローバルな視点に立ち、法律、行政、産業等の人文系の各分野で地域はもとより、国際的な活躍ができる生徒を育成する。

また、選択可能なスポーツ、芸術、家庭等の科目をとおして専門性を高め、教育、芸術、福祉分野等において活躍できる生徒を育成する。

〈理数〉

深い自然科学の知識・技能・思考力と実践的な英語力を身に付け、将来、化学、医療、工学、地球環境等の理数系の分野において、地域はもとより、国際的な活躍ができる生徒を育成する。

カリキュラム

共通履修科目				
国語総合	物理基礎	家庭基礎		
現代文B	生物基礎	社会と情報		
化学基礎	芸術 (音楽Ⅰ・美術Ⅰ)	保健		
世界史A	体育			
現代社会	コミュニケーション英語Ⅰ			
数学Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅱ			
数学Ⅱ	英語表現Ⅰ	英語表現Ⅱ		
数学A				

進学に必要な科目の他に
スポーツ・芸術・家庭などが選択可能

選択科目			
世界史B	物理	化学	生物
日本史B	政治・経済	地理	B
数学B	数学Ⅲ	スポーツⅠ・Ⅱ・Ⅲ	
芸術 (音楽Ⅱ・Ⅲ)	美術Ⅱ・Ⅲ		
生活と福祉	子どもの発達と保育		
フードデザイン	など		

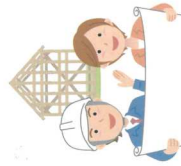
想定する将来の進路先

【人文】

商社員、銀行員、カウンセラー、教員、公務員、保育士、スポーツインストラクター 等

【理数】

建築士、システムエンジニア、看護師、管理栄養士、教員、公務員 等



キャリア探究コース

即戦力として地域社会に貢献する人材育成を目指したカリキュラム

～週31時間の授業(2・3年次)～

※1年次はスタンダード探究コースと共通の33時間

情報、家庭、芸術、商業等に関する専門科目を進路に応じて選択し、資格取得を図り、就職に対応できる力を身に付け、自らの将来を切り拓く力を備えた生徒を育成する。

カリキュラム

共通履修科目	国語総合	地学基礎	家庭基礎
	現代文B	生物基礎	社会と情報
	化学基礎	芸術(音楽Ⅰ・美術Ⅰ)	体育 保健
	世界史A	日本史A	政治・経済
	地理A	地理B	英語Ⅰ
	現代社会	コミュニケーション英語Ⅰ	英語Ⅱ
	数学Ⅰ	コミュニケーション英語Ⅱ	英語表現Ⅰ
	数学A	英語表現Ⅱ	ビジネス実務
	簿記		

選択科目

古典B	数学Ⅱ
情報処理	ビジネス情報
スポーツⅠ・Ⅱ・Ⅲ	
芸術(音楽Ⅱ・Ⅲ 美術Ⅱ・Ⅲ)	
生活と福祉	子どもの発達と保育
フードデザイン	など

想定する将来の進路先

市役所職員、地元企業社員、警察官、消防士 等

取得可能な資格

- ・簿記検定
- ・実用英語技能検定試験
- ・電卓実務検定
- ・ビジネスコミュニケーション検定 等
- ・ビジネス文書実務検定
- ・日本漢字検定
- ・情報処理検定

部活動

運動部

- 野球部
- バドミントン部
- ソフトテニス部
- 卓球部
- サッカー部
- ボート部
- バレーボール部(女子)
- 弓道部
- 陸上競技部
- バスケットボール部
- 剣道部

文化部

- 吹奏楽部
- 合唱部
- 美術部
- 自然科学部
- 英語部
- 調理部
- 放送部

※上記は現在想定している部活動です。名称は変更する場合があります
※その他の部活動についても現在検討中です

年間行事計画

(現在の想定)

- 4月 始業式・入学式
- 生徒総会
- 7月 校内スポーツ大会
- 9月 芸術鑑賞
- 10月 修学旅行・遠足
- ウォークラリー
- インタナショナル探究コース
- 1月 課題研究発表会
- 3月 卒業式・終業式
- 離任式

卒業生進路先

※喜多方・喜多方東両校の過去3年間の主な実績

【国公立大学】

東北大学 山形大学 福島大学 宇都宮大学 新潟大学 会津大学 福島県立医科大学(看護) 等

【私立大学】

東北学院大学 東北福祉大学 医療創生大学 文教大学 青山学院大学 桜美林大学 工学院大学 専修大学 中央大学 帝京大学 東海大学 東京農業大学 日本大学 神奈川大学 新潟医療福祉大学 等

【短期大学】

山形県立米沢女子短期大学 会津大学短期大学部 郡山女子大学短期大学部
桜の聖母短期大学 福島学院大学短期大学部 等

【専門学校】

竹田看護専門学校 北里大学保健衛生学院 国際ビジネス公務員大学校 新潟公務員法律専門学校
国際調理製菓専門学校 仙台ウェディング&ブライダル専門学校 仙台医療秘書福祉専門学校 等

【就職】

公務員 福島県警察官 自衛隊 消防士
会津オリンパス 太郎庵 裏磐梯高原ホテル ヨークベニマル JA会津よつば 榮川酒造 等

新生喜多方高等学校の役割

喜多方高等学校・喜多方東高等学校の両校は長年にわたり、会津北部地域の教育を担ってきました。卒業生は合わせて40,000名を超えます。新生喜多方高等学校は、喜多方高等学校、喜多方東高等学校の伝統を引き継ぎ、より一層、地域を担う人づくりに努めてまいります。

喜多方高等学校

校訓 金剛不壊・文武両道

大正7年4月 福島県立喜多方中学校 創立
昭和23年3月 福島県立喜多方高等学校と改称
平成10年9月 創立80周年記念式典挙行
平成20年9月 創立90周年記念式典挙行
平成30年10月 創立100周年記念式典挙行

喜多方東高等学校

校訓 勉勵・敬愛・躍進

昭和3年4月 福島県立喜多方高等女学校 創立
昭和23年4月 福島県立喜多方女子高等学校と改称
平成12年4月 喜多方東高等学校と改称
平成20年10月 創立80周年記念式典挙行 校訓制定
平成30年10月 創立90周年記念式典挙行

所在地

〒966-0802
福島県喜多方市桜ガ丘一丁目129番地
電話 0241-22-0174
FAX 0241-23-0947
HP <http://www.kitakata-h.fcs.ed.jp/>

【アクセス】

JR喜多方駅から約2km 徒歩25分
会津バス[喜多方・坂下線]約3分 喜多方高校入口下車 徒歩5分

